



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員・管理統括部長兼研究部門担当 (氏名) 佐野 俊之

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	175,909	7.1	18,853	39.3	16,329	22.4	8,965	59.3
22年3月期第3四半期	164,272	△11.0	13,532	△27.6	13,339	△17.8	5,628	△42.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	47.28	—
22年3月期第3四半期	29.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	201,277	110,726	50.2	532.36
22年3月期	184,774	109,663	53.9	525.58

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 100,941百万円 22年3月期 99,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.6	21,500	22.3	19,000	4.2	10,500	26.1	55.37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 199,962,991株 22年3月期 199,962,991株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 10,351,565株 22年3月期 10,331,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 189,624,377株 22年3月期3Q 189,653,406株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 連結分類別売上高明細表	12
(2) 海外売上高	13
(3) 在外子会社為替換算レート	13
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、失業率が高水準で推移したことなどにより、厳しい状況が続いたものの、景気は緩やかに回復しております。日本経済におきましては、景気は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどが見られたものの、デフレの影響や円高の進行などにより、依然として厳しい状況にありました。

スポーツ用品業界につきましては、健康志向によるスポーツへの関心の高まりが見られたものの、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続きグローバルレベルでのランニング事業の強化・拡大を図るとともに、「ニューヨークシティマラソン」や「シンガポールマラソン」におけるオフィシャルスポンサーとしての協賛や、中国で行われた第16回アジア競技大会における日本代表選手団へのオフィシャルスポーツウェアとシューズの提供など、企業イメージの向上およびブランド力の強化に努めました。

また、欧州における旗艦店として「アシックスストアアムステルダム」をオープンするなど、販売体制の強化に努めました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,759億9百万円と前年同期間比7.1%の増収でした。このうち国内売上高は、主にスポーツスタイルシューズおよびアスレチックウェアが低調であったため、604億4千万円と前年同期間比6.0%の減収でした。海外売上高は、欧州、米州およびオーストラリアでランニングシューズが好調に推移しましたので、1,154億6千8百万円と前年同期間比15.5%の増収となりました。損益につきましては、主として海外における売上高の増加および原価率の改善により、営業利益は188億5千3百万円と前年同期間比39.3%の増益となりました。経常利益は、為替差損を計上しましたが、163億2千9百万円と前年同期間比22.4%の増益、四半期純利益は89億6千5百万円となり、前年同期間に過年度法人税等を計上したことにより前年同期間比59.3%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産2,012億7千7百万円（前連結会計年度末比8.9%増）、負債の部合計は905億5千万円（前連結会計年度末比20.6%増）、純資産の部合計は1,107億2千6百万円（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。

また、キャッシュ・フローにおきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は317億6千3百万円と前連結会計年度末に比べ20億1千3百万円減少しました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は115億7千8百万円となり、前年同期間に比べ46億1千4百万円の収入減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益158億9千1百万円、減価償却費30億7百万円、売上債権の減少額16億4千4百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額53億8千5百万円、法人税等の支払額48億2千3百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は180億1千万円となり、前年同期間に比べ163億2千3百万円の支出増加となりました。

支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出137億3千3百万円（被取得企業の現金及び現金同等物を除く）、有形固定資産の取得による支出33億9千6百万円、有価証券の純増加額10億5千8百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は68億8千9百万円となり、前年同期間38億9千7百万円の支出から収入に転じました。

収入の主な内訳は、社債の発行による収入48億8千5百万円、長期借入れによる収入27億3千5百万円、短期借入金の純増加額24億7千5百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額18億8千3百万円、長期借入金の返済による支出8億1千5百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、売上高は前回発表数値から修正はありません。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては主に海外の原価率が改善されたことにより前回発表予想を上回る見込みです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	237,000	20,500	18,000	10,000	52 73
今回修正予想 (B)	237,000	21,500	19,000	10,500	55 37
増減額 (B - A)	—	1,000	1,000	500	—
増減率 (%)	—	4.9	5.6	5.0	—

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,503	33,436
受取手形及び売掛金	53,078	56,744
有価証券	3,535	3,130
商品及び製品	38,954	34,430
仕掛品	346	305
原材料及び貯蔵品	1,026	1,037
繰延税金資産	4,475	4,459
その他	5,801	4,635
貸倒引当金	△1,819	△2,193
流動資産合計	136,902	135,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,552	28,427
減価償却累計額	△19,240	△19,055
建物及び構築物（純額）	12,311	9,371
機械装置及び運搬具	4,576	4,107
減価償却累計額	△3,261	△3,212
機械装置及び運搬具（純額）	1,315	894
工具、器具及び備品	9,222	8,617
減価償却累計額	△7,226	△6,865
工具、器具及び備品（純額）	1,995	1,752
土地	10,356	10,375
リース資産	1,423	1,000
減価償却累計額	△572	△253
リース資産（純額）	851	747
建設仮勘定	713	2,317
有形固定資産合計	27,543	25,458
無形固定資産		
のれん	6,357	—
その他	13,870	6,007
無形固定資産合計	20,228	6,007
投資その他の資産		
投資有価証券	6,609	7,023
長期貸付金	371	632
繰延税金資産	1,625	1,298
その他	9,512	9,843
貸倒引当金	△1,516	△1,476
投資その他の資産合計	16,602	17,321
固定資産合計	64,374	48,786
資産合計	201,277	184,774

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,473	20,882
短期借入金	11,640	9,238
リース債務	397	311
未払費用	6,546	6,885
未払法人税等	3,015	1,590
未払消費税等	863	553
返品調整引当金	307	708
賞与引当金	817	1,470
繰延税金負債	128	0
資産除去債務	33	—
その他	7,243	5,832
流動負債合計	50,467	47,474
固定負債		
社債	16,000	11,000
長期借入金	5,676	3,450
リース債務	674	667
退職給付引当金	8,080	7,627
繰延税金負債	3,729	979
資産除去債務	431	—
その他	5,490	3,910
固定負債合計	40,082	27,635
負債合計	90,550	75,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	78,796	71,658
自己株式	△7,798	△7,780
株主資本合計	112,152	105,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	937	1,285
繰延ヘッジ損益	△642	△232
在外子会社資産再評価差額金	495	565
為替換算調整勘定	△12,000	△6,984
評価・換算差額等合計	△11,210	△5,365
少数株主持分	9,784	9,997
純資産合計	110,726	109,663
負債純資産合計	201,277	184,774

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	164,272	175,909
売上原価	95,058	98,300
返品調整引当金戻入額	668	599
返品調整引当金繰入額	323	245
売上総利益	69,558	77,963
販売費及び一般管理費	56,026	59,109
営業利益	13,532	18,853
営業外収益		
受取利息	350	308
受取配当金	608	167
その他	716	502
営業外収益合計	1,676	978
営業外費用		
支払利息	371	324
為替差損	1,260	2,888
その他	237	290
営業外費用合計	1,869	3,502
経常利益	13,339	16,329
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	24	1
投資有価証券償還益	332	—
貸倒引当金戻入額	191	132
特別利益合計	550	135
特別損失		
固定資産売却損	11	11
固定資産除却損	27	153
投資有価証券評価損	328	0
投資有価証券売却損	6	—
投資有価証券償還損	26	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	377
特別損失合計	400	574
税金等調整前四半期純利益	13,488	15,891
法人税等	5,156	6,303
過年度法人税等	1,936	—
少数株主損益調整前四半期純利益	—	9,587
少数株主利益	767	622
四半期純利益	5,628	8,965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,488	15,891
減価償却費	2,494	3,007
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	115	△187
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	653	608
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△917	△635
投資有価証券評価損益 (△は益)	328	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18	△1
投資有価証券償還損益 (△は益)	△306	31
受取利息及び受取配当金	△959	△476
支払利息	371	324
為替差損益 (△は益)	△177	1,180
有形固定資産除売却損益 (△は益)	36	163
その他の損益 (△は益)	607	2,270
売上債権の増減額 (△は増加)	8,709	1,644
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,642	△5,385
その他の資産の増減額 (△は増加)	845	△961
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,116	△901
未払消費税等の増減額 (△は減少)	686	364
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,204	△744
小計	25,282	16,194
利息及び配当金の受取額	963	467
利息の支払額	△326	△259
法人税等の支払額	△9,726	△4,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,193	11,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△39
定期預金の払戻による収入	950	—
有形固定資産の取得による支出	△2,767	△3,396
有形固定資産の除却による支出	—	△48
有形固定資産の売却による収入	67	77
無形固定資産の取得による支出	△237	△359
有価証券の純増減額 (△は増加)	△67	△1,058
投資有価証券の取得による支出	△1,037	△67
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,293	561
子会社株式の取得による支出	△195	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,020	△13,733
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△17	△36
長期貸付けによる支出	△30	△61
長期貸付金の回収による収入	82	52
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	493	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,687	△18,010

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,367	2,475
長期借入れによる収入	850	2,735
長期借入金の返済による支出	△798	△815
社債の発行による収入	—	4,885
自己株式の取得による支出	△23	△18
自己株式の売却による収入	0	0
少数株主からの払込みによる収入	4	—
リース債務の返済による支出	△264	△228
配当金の支払額	△1,903	△1,883
少数株主への配当金の支払額	△396	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,897	6,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,937	△2,470
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,544	△2,013
現金及び現金同等物の期首残高	22,575	33,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,120	31,763

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項がないため記載しておりません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	66,806	39,617	44,399	13,448	164,272	—	164,272
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,253	3	0	643	7,901	(7,901)	—
計	74,060	39,620	44,400	14,092	172,173	(7,901)	164,272
営業利益	2,242	2,249	7,488	1,332	13,312	220	13,532

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

② 各区分に属する国又は地域……米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	39,617	43,917	16,468	100,003
II 連結売上高（百万円）				164,272
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合（%）	24.1	26.8	10.0	60.9

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

② 各区分に属する主な国又は地域……米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においては当社が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、アジア・パシフィックの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、当社グループは、従来「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」および「アジア・パシフィック地域」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第2四半期連結会計期間より、「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「アジア・パシフィック地域」および「その他事業」の5つを報告セグメントに変更しております。この変更は、ホグロフスホールディングABの株式を取得したことによるものであります。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」および「アジア・パシフィック地域」は、主にスポーツ用品等を製造販売しており、「その他事業」は、「ホグロフス」ブランドのアウトドア用品の企画開発・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	アジア・パシフィック地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	63,780	46,046	46,307	17,219	2,555	175,909	—	175,909
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,556	0	—	644	—	10,201	(10,201)	—
計	73,337	46,046	46,307	17,864	2,555	186,110	(10,201)	175,909
セグメント利益	2,245	4,171	9,584	2,945	162	19,110	(256)	18,853

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、重要な事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	34,062	20.7	32,424	18.4	△1,638	△4.8
	海外	89,920	54.8	102,486	58.3	12,565	14.0
	計	123,983	75.5	134,910	76.7	10,927	8.8
スポーツウェア類	国内	20,700	12.6	18,808	10.7	△1,892	△9.1
	海外	8,574	5.2	10,810	6.1	2,236	26.1
	計	29,274	17.8	29,619	16.8	344	1.2
スポーツ用具類	国内	9,505	5.8	9,207	5.3	△298	△3.1
	海外	1,508	0.9	2,171	1.2	663	44.0
	計	11,014	6.7	11,379	6.5	365	3.3
合計	国内	64,269	39.1	60,440	34.4	△3,828	△6.0
	海外	100,003	60.9	115,468	65.6	15,465	15.5
	計	164,272	100	175,909	100	11,636	7.1

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウェア類：トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア、スキーウェア、スノーボードウェア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、テーピング、サポーター、栄養補助食品、陸上競技用機器等

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高（百万円）	46,046	48,145	21,276	115,468
II 連結売上高（百万円）				175,909
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	26.2	27.3	12.1	65.6

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する主な国又は地域…米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

アジア・パシフィック：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
22年3月期第3四半期（円）	94.53	129.65	71.16	0.0726	—
23年3月期第3四半期（円）	89.32	118.16	80.15	0.0765	11.80
増 減 （円）	△5.21	△11.49	+8.99	+0.0039	—
増 減 比 （%）	△5.5	△8.9	+12.6	+5.4	—

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	アジア・ パシフィック 地域	その他事業
売上高増減比（%）	(外貨)	—	+23.0	+14.4	—	—
	(邦貨)	△1.0	+16.2	+4.3	+26.8	—
セグメント利益増減比（%）	(外貨)	—	+96.3	+40.4	—	—
	(邦貨)	+0.2	+85.4	+28.0	+121.1	—
セグメント利益率（%）		3.1	9.1	20.7	16.5	6.3